

みかい

安住院便り
(第31号)

平成25年8月1日発行

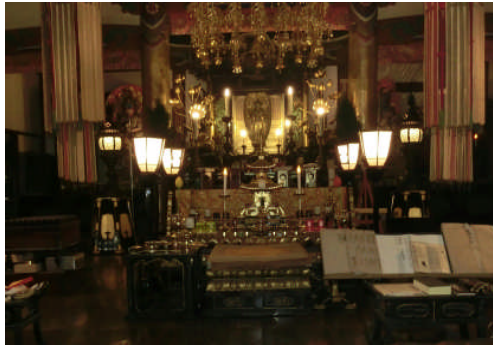
〒703-8236
岡山市中区国富3丁目1-29
住職 生駒琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

灯明（明かり）

昨年未、岡山市内の有名な古刹、金山寺の本堂が不幸にも全焼してしまいました。詳しい事は不明ですが、灯明（ロウソク）の火が原因とも言われています。寺院の諸堂の中では、今でも明かりとして、ロウソクが使用されている所が多くあります。また、護摩祈祷等で、堂内で火を扱う場合もあります。その上、木造作りの建物が多く、文化財のため改造し難いものもあり、火災には日頃より、十分注意しています。

ロウソクなどの明かりですが、ただ見やすくするための光としての意味だけでなく、仏教的には、仏様の素晴らしいお智恵を表し、水や花や香と共に、仏様への重要なお供え物の一つです。私たちが迷いの暗闇の中で困っている時、仏の道を指し示してくれる、温かい仏様の智恵が、あのロウソクの明かりなのです。昼間、外での太陽の輝きとは違った、本堂内の荘厳な明るさがあるのです。



しかし、時代の流れ、光も、ロウソクから電球に、そして今ではLEDが、主流になっていきます。省エネルギーだけでなく、安全性の観点からも、LED照明は普及してきています。

そこで、当安住院の本堂内の明かりも、出来るだけLEDを使った、電気照明に変更してきました。先程申し上げたように、ただ見やすくなるためだけではなく、仏様への御供え、仏様のお智恵でありますので、その点を十分考えた上で、安全対策として導入していくつもりであります。

日本の仏教寺院のお堂は、昼でも薄暗い中で、仏様が静かに佇むという印象です。キリスト教などの教会のステンドグラスに照らされた極彩色の空間とは違います。仏教では、みんな一緒に集まっても、個人個人を大切に、静かに仏様との御縁を結び意識が強いからだと考えます。仏様は全ての人に対して、その方だけのために説法されているのです。みんなに安らぎを与えられることは、どの宗教でも同じですが、仏教では仏様との距離感が大切なのです。

本堂の中の、明かりに照らされた仏様と、是非素晴らしい御縁を結んで頂きたいものです。

合掌

安住院ホームページ <http://anjuin.com/>

ご挨拶

副住職 生駒 善勝

岡山に来て三ヶ月、前号での紹介より半年が経ちました。お彼岸、法事などでお会いした方もおられますが、その際、温かい励ましのお言葉を頂き、大変有難く、勇気づけられました。

これから先も、多々ご迷惑をお掛けすると思いますが、皆様のご期待に少しでも添える様に勤めますので、宜しくお願い致します。

高校までは愛知県内の学校へ通い、縁があり、高野山大学へ行くことになりました。この時、実家がお寺でなかったので僧侶になるとは思ってもみませんでした。しかし、高野山で出会う方々に「高野山へ来たのだったら、僧侶の資格を持っていても邪魔にはならないから」と口を揃えて言われ、それで、在学中に

修行をして僧侶となり、お大師様の弟子になったわけです。

卒業後は、総本山金剛峯寺に勤めました。山奥にある真別処・円通律寺では、修行者と共に生活をし、奥之院では、お大師様と共に、参詣の方々をお迎えしました。

大学から今年三月に退職するまで、計十二年間という月日が経っていました。大学四年間のつもりでしたが、思いもかけない三倍の月日を、高野山で過ごしていました。もしかすると、お大師様は知っていたのかもしれない。（合掌）

灯籠流し

岡山市佛教教会主催で、今年も例年通り、八月十六日六時半から、西川の緑道公園にて、灯籠流しを開催致します。

ご先祖様の供養のため、是非お詣りして、灯籠流しにご参加下さい。

淡路島霊場参拝

本年四月二十四日、淡路島にある十三仏霊場と七福神霊場のお参りの三回目として、鳴門大橋に近い南淡路の七ヶ寺を訪れました。

春の嵐、強風注意報がでていましたので、転ばないように注意しながらでしたが、無事結願をいたしました。

住職の法話を聞いたり、お菓子の御接待を受けたり、のどかなお寺巡りでした。十三仏と七福神と一緒に回ったため、混乱した方もおられたと存じますが、淡路も日帰りのコースですので、別々にまたゆっくり参ってみてはいかがでしょうか。また違った印象を受けることと思います。

次の予定は、十月十日（木）新しく兵庫県と京都府にまたがる丹波古刹霊場を、三回に分けて参ります。安住院として初めての場所になりますので楽しみにしています。是非多数のご参加をお願い致します。

